

専徳寺報

第475号

令和5年8月11日発行

浄土真宗本願寺派

専徳寺

〒740-0044 岩国市通津2764
☎0827-38-1124 FAX38-1000

①<http://sentokuji-iwakuni.net/>

専徳寺

検索



②動画ちゃんねる「ひかりといのちきわみなき」

歡喜会法要

御案内

浄土真宗は盆会を「歡喜会かんぎえ」と呼びます。故人を通して、自ら仏法に出遇えた喜びを味わいつつ、共々にお念仏申し今年の夏をしめくりたいと思います。

日程

8月29日(火) 昼 1時半〜3時半
30日(水) 朝 10時〜12時

ご講師

本願寺派布教使

白石 智昭 師 (下関市)

●新物故者追悼法要

新物故者を偲びご遺族の焼香があります。

新型コロナウイルス感染症が5類（一般のインフルエンザと同じ）に移行しました。本堂の換気や消毒は継続しますが、各自のマスク着用の有無はおまかせします。ご体調をととのえてお参りください。



●参拝セット

①念珠、②聖典、③門徒式章、④聴聞カード
どうぞお持ちください。

【法座奉仕】藤生地区 ※法座後の片付けをお願いします。

●ご門徒正答率100%を目指して

家族で学ぶ クイズ浄土真宗②

▼問題

「お仏壇の説明で、意味が一番近いのは？」

イ. 仏（如来）さまをお迎えし、私が仰ぐための家

ロ. 亡き人の靈魂が住む家

ハ. 位牌や過去帳を祀るところ

（答えは裏頁に）

●法座余香（仏無法座 6月19日）

ご講師は初めてご来講の舟川智也師（行橋市）でした。丁寧な一座を賜りました。

なお、ご講師の許可をいただき、この度のお説教の後席を、特別に左記のQRコードから視聴できます。お参りくださった方も、お参りできなかった方もどうぞご覧ください。



【仏婦役員交代】

【旧役員名】土井智恵子（会長）、三井初美、増本美佐江、半田洋美、吉柴恵子、佐倉裕子、村中久子、梶本美代子、村河久美子、秋嶋幸子、岩中みどり

【新役員名】村重瑞江（会長）、松本貴子、村上久美子、朝本弘子、田名加きみ子、賀屋さとみ、藤崎美智子、藤本真由美

旧役員の皆さまには、8年間、法座を始め様々な寺院の活動にご助力くださり、ありがとうございました。

▼【表頁のクイズの答え】

仏壇は、昔はどの家にもありましたが、戦後の経済発展に伴い、人口流動が激しくなり、都市部を中心に仏壇を持たない家庭が増えていきました。その結果、今住んでいる家族の一人が亡くなって初めて、仏壇を求めるようになったと思われま。そこから、仏壇は、人が亡くなって必要になるというイメージが広がったようです。具体的には、亡き人の靈魂が宿る住居として、また、位牌や、法名を記した過去帳を亡き人と見たてて、それらを祀るところとして仏壇を安置したわけです。

しかし、仏壇は字のごとく「仏さまがおられる一段高くなったところ」のことです。仏さまとは、単に亡くなられた方のことではなく、真実そのものを表した本尊の如来さまのこと、浄土真宗でいえば阿弥陀如来です。私が敬い、仰ぐために、如来さまを一段高いところにお迎えし、お飾りしたのが「仏壇」なのです。それは如来さまのいらっしゃる家、すなわち浄土を表していると言えます。

今生きる人の心の依り処として如来さまを仰ぎ、浄土に思いをはせる中で、亡き人に出合っていく場が仏壇であり、亡くなられた方の靈魂か何かが仏壇のどこかにいらっしやるわけではありません。

答え イ

(末本弘然『クイズ浄土真宗』107頁)

寺内だより

●み仏にいだかれて [葬儀勤修]



●ご恩を偲び [法事勤修]

6月5日～7月

●ありがとうございます [永代経志納]

永代経志納

●上棟式 [専徳寺第2納骨堂]

6月15日

心配していた雨も降らず、園児たちと餅撒きも行うことができました。

現在外装は終わり、内装工事中です。完成は9月下旬になりそうです。



●専徳寺倶楽部夏の集い (7月23日)

今年も草刈りとおみがきにわかれて作業をしました。総会後、外縁で懇親会を開き「専徳寺倶楽部LINEグループ」を作成しました。

これから若い世代の倶楽部入会をすすめていきたいと思えます。

【参加者】秋嶋進一、浅井佐、上田浩之、小方基史、岸井清市、吉柴伸一、北本征夫、木戸久夫、白田憲光、中崎寛、中崎輝彦、半田正昭、廣田尚志、藤本昭範、増本真一、松重吉英、村重親男、森上博之、森田幸一 (19名)

サマースクール (8月6日)

26名の小学生が参加してくれました。土井健先生の科学クラブや、龍谷大学伝道部のゲーム、そして夕方からは保護者の方が境内で「夏祭り」を開いてくださいました。



第14期 岩国組連続研修会 参加者募集。

ひさしぶりに連続研修会（通称「連研^{れんけん}」）が始まります。月に一度の土曜日の午後、岩国のお寺を会場に、お仏壇のお飾りや仏事を学び、そしてみ教えについては、普段のお聴聞ではなく、「話し合い」を中心に学んでいくのが特徴です。

「正信偈」の勤行もきちんと練習できる有意義な研修です。

期 間：2023年9月30日（土）～2024年10月26日（土）

※全14回の日程です。

時 間：15時30分～18時30分

参加費：2,500円

持参品：念珠・式章

申し込み：専徳寺（☎ 38-1124）（締め切りは8月31日）



お供え物のおすそわけ（物資の寄付）

子どもの貧困は現在、日本の大きな社会問題です。お盆をご縁に「おてらおやつクラブ」へ物資の寄付を行いたいと思います。

ご協力くださる方は寄贈品を「歓喜会法要」（8/29-30）までに専徳寺へお持ちください。

尊前にお供えして法要後に梱包発送いたします。

【おすそわけ物資】

お米・スナック菓子・レトルト食品・缶詰・マスク・除菌グッズ・文房具・歯ブラシ・洗剤

※注意事項

- ・賞味期限が2週間以上余裕のあるもの
- ・常温保存ができる食品
- ・未使用未開封のもの

その他ご不明な点はお寺まで
（☎ 38-1124）



「おてらおやつクラブ」とは

お寺にお供えされるさまざまな「おそなえもの」を、仏さまからの「おさがり」として頂戴し、子どもをサポートする支援団体の協力の下、さまざまな事情で困りごとを抱えるひとり親家庭へ「おすそわけ」する活動です。



岩国組の仏教讃歌を歌う合唱団です。チケット（無料）ご希望の方はお寺へご連絡ください。

開催日時 令和五年十月十二日（木）
十三時三十分会場
十四時開演

会場 岩国市民文化会館 大ホール

ゲスト ちひろ（歌手）さん

岩国組コールカラビнка創立25周年 記念演奏会



ちひろ（歌手）：金子みすゞの詩を歌うシンガーソングライター